

12. HIV／エイズ

▶ どんな病気？

HIVは、英語の「Human Immunodeficiency Virus」の頭文字をとったもので、ヒト免疫不全ウイルスのことです。一方、エイズ(AIDS)は英語の「Acquired Immunodeficiency Syndrome」の頭文字をとったもので、「後天性免疫不全症候群」といい、免疫の働きが低下することにより生じるいろいろな症状の集まりのことです。

HIVに感染しても、すぐにエイズになるわけではありません。HIVに感染してからエイズを発症するまで5年から10年ほどかかるといわれています。HIVに感染すると、免疫の仕組みの中心である白血球の一種が壊され、身体を病気から守っている免疫力が低下していきます。その結果、健康なときには感染しない様々な感染症やがんなどの代表的な23の疾患のいずれかが発症した時点で「エイズ発症」と診断されます。

HIVは、性行為による感染、血液を介しての感染、母子感染の3つの感染経路があります。

エイズは、1981年6月、アメリカで患者が確認されて以来、世界に広がりました。2020年末現在、世界中で約3760万人が感染しています。

▶ 日本では？

1981～1986年頃

- ゲイを中心とするアメリカの特定グループにみられる病と認識された
- 1983年当初、アメリカの「4つのH」すなわち、ホモセクシュアル(同性愛者)、ヘロイン常習者、ヘモフェリアック(血友病患者)、ハイチ移民者に多発する謎の病気として報道された

1986年末～1987年初頭
第1次エイズパニック

- 国内での感染事例がセンセーショナルに報道された
- 長野県松本市で働いていたフィリピン人女性がHIV感染(1986.11)
- 兵庫県神戸市在住29歳の日本人女性がエイズで死亡(1987.1)
- 外国人のセックスワーカー、日本人のセックスワーカーが感染を社会に広めているとして報道された

1992年
第2次エイズパニック

- 1992年7月に2夜連続のテレビ番組「エイズ危機」で、感染が異性愛者の中でも起こりうることに触れた
- 一部の人だけに感染の危険があるのではなく、だれもがHIVに感染するという理解が広まる
- 薬害エイズ訴訟